

平成 2 3 年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の平成23年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

歳入といたしましては、まず、「平成23年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の第7款 分担金及び負担金、第2項 負担金、第1目 民生費負担金の43頁 災害救助費負担金であります。人事委員会関係分は予算額・収入済額とも22万9千円であります。次に、第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の131頁 公平事務受託事業収入であります。予算額・収入済額とも3万8千円あります。さらに、136頁の第8項雑入、第2目雑入であります。人事委員会関係分は、予算額9万6千円に対し、収入済額が9万6,563円あります。以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算額36万3千円に対し、収入済額が36万3,563円となります。

なお、収入未済はございません。

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

230頁の第2款総務費、第9項人事委員会費、第1目人事委員会費であります。予算額1億2,892万5千円に対して、支出済額は1億2,715万3,707円、不用額は177万1,293円あります。支出済額のうち、人件費は1億1,329万3,600円、その他の事務費は1,386万0,107円となっております。

支出済額の内訳といたしましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億1,716万6,605円、給与関係調査に要した経費98万3,118円、各種競争試験及び選考試験等の実施に要した経費843万6,718円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費56万7,266円あります。不用額177万1,293円は、人件費及び事務費の執行残であります。

なお、監査委員意見は特にごございません。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の平成23年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

平成23年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

平成23年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係の歳出決算につきまして、その概要を説明申し上げます。

「平成23年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の232頁から235頁を参照願います。

歳出決算額は、第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、2億4,822万8,461円で、その内訳は、監査委員、事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査231箇所、財政的援助団体等監査33団体、及び行政監査を行いました。

また、一般会計・特別会計、企業会計の決算審査、健全化判断比率及び資金不足比率等について審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の平成23年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	249,251,000	248,228,461	1,022,539
合 計	249,251,000	248,228,461	1,022,539

(「平成23年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」232頁から235頁までを抜粋)

平成 2 3 年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

平成 23 年度歳入歳出決算補充説明

平成 23 年度三重県歳入歳出決算の出納局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【出納局歳入決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
分担金及び負担金 負担金 民生費負担金	213,000	213,609	213,609
財産収入 財産売払収入 物品売払収入	39,000	39,900	39,900
繰入金 基金繰入金 基金繰入金	12,732,000	12,657,307	12,657,307
諸収入 県預金利子 県預金利子	42,790,000	41,743,605	41,743,605
雑入 小切手未払資金組入 雑入 過年度収入	36,352,000 9,246,000 120,000	37,038,101 39,600,915 7,000,000	37,038,101 39,600,915 120,000
出納局関係分 計	101,492,000	138,293,437	131,413,437

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「平成 23 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の 40 頁をご覧ください。

第 7 款「分担金及び負担金」のうち、出納局関係は、第 2 項「負担金」第 1 目「民生費負担金」であります。

予算現額 21 万 3,000 円

調定額、収入済額 21 万 3,609 円

となっております。これは、東日本大震災に係る救助応援に要した費用を災害救助費負担金として受け入れたものであります。

次に、112 頁の第 10 款「財産収入」のうち、出納局関係は、第 2 項「財産売払収入」第 2 目「物品売払収入」であります。

予算現額 3 万 9,000 円

調定額、収入済額 3 万 9,900 円

となっております。これは、公用車 1 台を売却したものであります。

次に、120 頁の第 12 款「繰入金」のうち、出納局関係は、第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」であります。

予算現額	1,273 万 2,000 円
調定額、収入済額	1,265 万 7,307 円

となっております。これは、緊急雇用創出事業臨時特例基金より繰入れを行ったもので、業務補助職員や非常勤嘱託員の人件費等に充当したものであります。

次に、124 頁の第 14 款「諸収入」のうち、出納局関係は、まず第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」であります。

予算現額	4,279 万円
調定額、収入済額	4,174 万 3,605 円

となっております。これは、歳計現金の運用益のうち、出納局の事務費に充当したものであります。

また、136 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

予算現額	3,635 万 2,000 円
調定額、収入済額	3,703 万 8,101 円

となっております。これは、自動車税の還付金等で小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入れしたものであります。

また、同じく 136 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額	924 万 6,000 円
調定額、収入済額	3,960 万 915 円

となっております。これは、主に三重県収入証紙の一般証紙売払代金であります。一般証紙売払代金は、販売した証紙代金を各種手数料等の証紙消印実績に応じて振替えた残額であり、収入済額が予算現額を上回りました。

また、138 頁の第 3 目「過年度収入」のうち、出納局関係は、

予算現額	12 万円
調定額	700 万円
収入済額	12 万円

となっております。688 万円の収入未済額が生じております。これは、模造品トナー納品にかかる弁償金であり、平成 23 年 12 月 12 日に津地方裁判所において和解が成立し、和解条項どおり相手方から分割納付されております。

なお、不納欠損額については、ございませんでした。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
総務費		
総務管理費		
一般管理費	398,670,000	397,515,995
会計管理費	260,348,000	252,872,145
出納局関係分 計	659,018,000	650,388,140

次に、歳出についてご説明申し上げます。

168 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち出納局関係は、

予算現額	3 億 9,867 万円
支出済額	3 億 9,751 万 5,995 円
不用額	115 万 4,005 円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、178 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

予算現額	2 億 6,034 万 8,000 円
支出済額	2 億 5,287 万 2,145 円
不用額	747 万 5,855 円

となっております。

支出済額の主なものは、財務会計システムの運用に要した経費、物件等電子調達システムの運用に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費であり、不用額の主なものは、電子調達システム使用料の執行残であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の 4 種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

582 頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13 頁から 25 頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【39 基金の状況 総括表】

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土 地	174,169 m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	174,169 m <sup>2</sup>
	建 物	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
	立 木	-	-	-
動 産		9,738 枚	- 枚	9,738 枚
有 価 証 券		655,030千円	1,303,449千円	1,958,479千円
債 権		2,426,088千円	1,728,892千円	697,196千円
現 金		100,579,541千円	28,732,444千円	71,847,097千円
計（金額換算）		105,432,090千円	29,157,889千円	76,274,202千円

四捨五入しているため、合計等が合わない場合があります。

平成 23 年度決算にかかる 39 基金を合わせた決算年度末現在高は、762 億 7,420 万 1,583 円で、前年度末現在高に比べ、291 億 5,788 万 8,641 円減少しております。

なお、基金については、最も安全かつ有利な方法により運用し、1 億 6,645 万 389 円の運用益がございました。

続きまして、平成 23 年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご指摘をいただきました事項に対する、出納局の取り組みをご説明申し上げます。

債権管理につきましては、三重県会計規則等への督促規定の明記について、総務部税務・債権管理課と連携し検討していきます。

次に、財務事務の適正化につきましては、各所属に対して年 2 回の事後検査を行うとともに、事前検査の徹底と検査後の事務処理のフォローアップ、初任者研修、実務研修等の実施、会計相談やメリハリのある職場訪問と職員の経験・能力に応じた OJT 研修、出納員、会計事務職員への定期的なメール配信を通じて、不適切な会計事務処理の未然防止と会計事務職員の専門的能力の養成に努めています。

次に、金品亡失につきましては、総務部長と出納局長の連名による各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、これまで過失による県の損害額が 30 万円以上の金品の亡失等に対して行ってきた所属長への文書指導を、損害額 10 万円以上に対象を拡大するなど金品の管理意識の向上に努めています。

また、資金運用につきましては、各部局との連携強化により収支計画の精度向上に努めるなど、より正確に資金の需給を把握し、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行っていきます。

以上をもちまして、平成 23 年度決算並びに財産についての説明を終わります。  
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成 2 3 年度

歳入歳出決算補充説明書

議会事務局

議会関係の平成23年度歳入歳出決算額の概要について、ご説明申し上げます。

まず、歳入について申し上げます。

議会関係の歳入といたしましては、決算に関する説明書136頁の第14款「諸収入」、第8項「雑入」、第2目「雑入」のうち、議会関係分は、139頁の「雑入」の一部でございます。予算現額3,110万4千円に対し、調定額・収入額とも3,127万3,925円となっております。

次に、歳出について申し上げます。

議会関係の歳出合計といたしましては、164頁の第1款「議会費」、第1項「議会費」、第1目「議会費」で、予算現額16億3,207万7千円に対し、支出済額は15億8,965万7,287円となっております。

支出済額の内訳としましては、議員報酬及び議員の期末手当等8億6,197万4,110円のほか、議会運営に要した経費3億8,272万4,199円、及び事務局職員の人件費3億4,152万1,958円、事務局運営に要した経費3,437万7,020円となっております。

以上、簡単でございますが、議会関係の平成23年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。